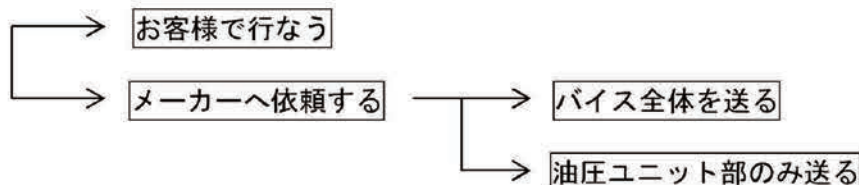


◆ 注油方法

長期間の使用により、締付力が低下したと思われる場合は、注油を行なってください。

1.) 注油作業は次のいずれかになります。

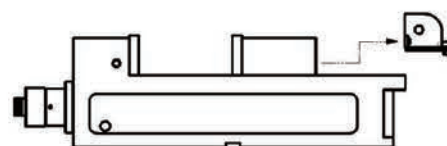


※ 用意する工具 六角レンチ 19mm, 6mm, 4mm, 2.5mm, スパナ 13mm, バイス, ピンレンチ (ピン径φ5)

※ 使用する油 JX 日鉱日石エネルギー株式会社 スーパーハイランド68相当品

2.) 可動体を図の位置へ移動してください。(図 12)

3.) 可動体側の、切屑カバーユニットを外してください。



[図 12]



禁止

切屑カバーユニットを取り扱う場合は、素手での作業は行なわないで下さい。
切屑カバーのバネ性に依り、素手での作業は作業者が傷害を負う可能性があります。



注意

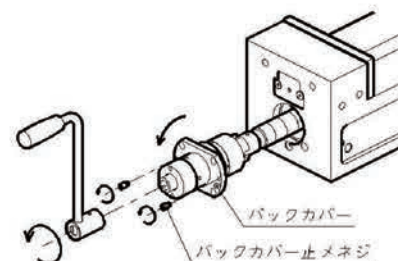
切屑カバーの取付け時、カバー本体の折り曲げ等を行なうと、正常に巻取り動作が出来なくなります。

4.) バックカバー止めネジを緩め、バックカバーを本体から外してください。(図 13) バックカバーは本体にねじ込んで固定されています。

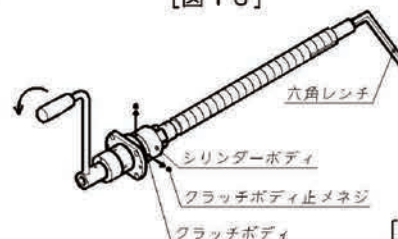
5.) ハンドルを油圧用スピンドルに差込み反時計方向に回し、油圧ユニットを本体から分解して下さい。

6.) クラッチボディ止めネジを外し、クラッチボディ部と油圧シリンダー部を分離して下さい。

スピンドル先端の六角穴に挿入した、六角レンチ (10mm) を固定し、ハンドルを反時計方向に回して下さい。(図 14)

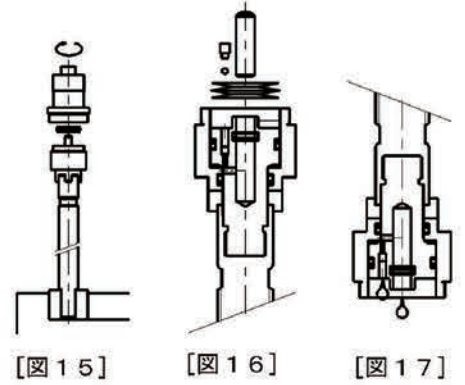


[図 13]

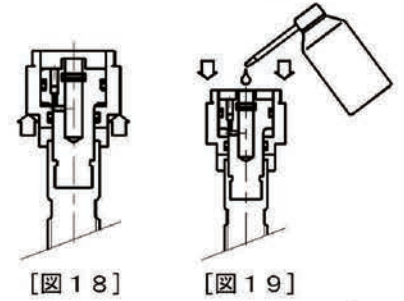


[図 14]

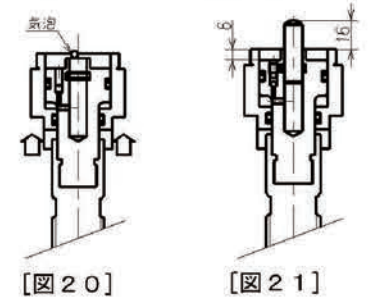
- 7.) 油圧ユニットをバイス等で固定して下さい。(図 15)
- 8.) ピストンからプランジャーピン, エアー抜き止メネジ, エアー抜きスチールボールを分離して下さい。(図 16)
- 9.) ピストン, シリンダボディ内部の古い油を取り出して下さい。(図 17)
- 10.) シリンダボディを引き上げて、シリンダボディ内の空間を最小にして下さい。(図 18)



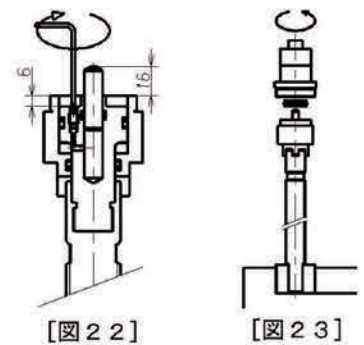
- 11.) 作動油をピストン内に注油しながら、シリンダボディを押し上げて下さい。(図 19)
ピストン内にエアーが入らないよう注意して下さい。
- 12.) ストロークいっぱいまでシリンダボディを押し上げた後、シリンダボディを引上げ、ピストンから油とエアーを出して下さい。この作業でエアー(気泡)が出なくなるまで、11.), 12.)の作業を繰り返して下さい。(図 20)



- 13.) エアーが出なくなったら、エアー抜きスチールボールとエアー抜き止メネジをピストンにセットして、エアー抜き止メネジは軽くねじ込んで下さい。(図 21)
ピストン, シリンダボディ, プランジャーピンの位置関係を図の位置にセットしたら、エアー抜き止メネジを締め付けて下さい。(図 22)



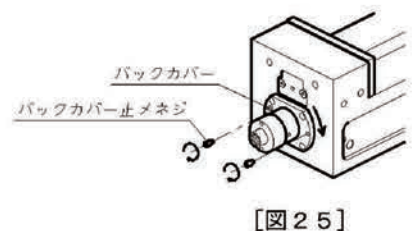
- 14.) ピストン上部にサラバネを4枚セットし、クラッチボディ部分をシリンダ部にねじ込んで下さい。この時、サラバネが中央からずれないよう注意して下さい。ずれたままねじ込むと、正常に作動せずサラバネが破損します。(図 23)



- 15.) 油圧ユニットをバイスから外し、油圧用メネジのピン穴ゆにクラッチボディ止メネジ用のクラッチボディネジ穴とシリンダボディ凹の位置を合わせて、クラッチボディ止メネジを締め付けて下さい。(図 24)



- 16.) 油圧ユニットを本体に組込んで下さい。
スピンドルネジ部をメネジにねじ込み、次にバックカバーネジ部を本体にねじ込んで下さい。
バックカバーは、安全な締め込み状態から水平の位置まで戻し、バックカバー止メネジを締め付けて下さい。(図 25)



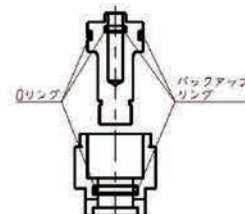
- 17.) 締め付けを行い、正常に締め付けが出来ることを確認して下さい。油圧が抜けて十分な締め付けが得られない場合、油漏れが考えられます。Oリングの交換を行って下さい。

- 18.) Oリング交換手順
9.)の状態にして下さい。

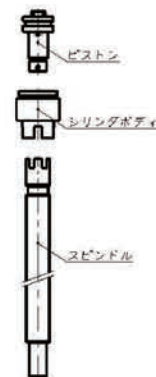
- 19.) ピストン止メネジを外して下さい。
 ピストン先端の 2 面巾部にスパナを掛けて、反時計方向へ
 回し、スピンドルからピストンを分離して下さい。(図 26)
- 20.) ピストン内部シリンダ内部の O リング, バックアップリン
 グを外して下さい。
 内部を洗浄して下さい。新しい O リングに作動油を塗布し
 た後に O リング, バックアップリングを組み込み、(図 27)
 シリンダボディへピストンを挿入後、ピストンをスピンド
 ルへねじ込んで下さい。(図 28)
- 21.) スピンドルのネジ穴とピストンの凹部の位置を合わせて、
 ピストン止メネジを締付けて下さい。(図 29)
- 22.) 10.)からの作業を行って下さい。



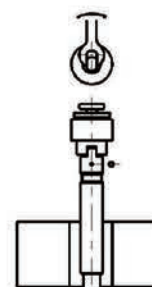
[図 26]



[図 27]



[図 28]



[図 29]

SINCE 1560
 株式会社 ナベヤ

本社: 岐阜市若杉町 25

TEL: (058)273-6521

FAX: (058)278-0220

<http://www.nabeya.co.jp>